

## 令和2年度 福井市行政改革推進委員会 会議結果

- 1 開催日時 令和3年1月26日(火) 13:00~14:40
- 2 開催場所 市役所本館 8階 第1委員会室
- 3 出席者
  - (1) 委員 生駒俊英 委員、内山秀樹 委員、奥村清治 委員、黒川俊枝 委員、佐々木俊一 委員、谷内由美子 委員、船井里江子 委員、田村洋子 委員、  
(オンラインにて出席)井上武史 委員、見谷頼貞委員
  - (2) 事務局 総合政策課、財政課、施設活用推進課
- 4 会議次第
  - 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 委員長及び副委員長の選出について
    - (2) 令和2年度 第1回財政健全化専門部会の会議結果について(報告)
    - (3) 「福井市行政改革指針(平成29年度~令和3年度)」令和2年度取組結果(案)について
    - (4) その他
  - 4 閉会
- 5 議事の概要

事務局	(1) 委員長及び副委員長の選出について まず、議事(1) 委員長及び副委員長の選出について、「福井市行政改革推進委員会規則」第4条により、委員長及び副委員長は、委員の互選により選ぶことになっているので、協議をお願いしたい。
委員	初めて委員になった方もいるので、事務局に案があれば提示していただきたい。
事務局	これまで委員長、副委員長をお引き受けいただいていた内山秀樹委員、田村洋子委員にお願いしたい。 (拍手で承認)
事務局	委員から承認いただいたので、委員長に内山秀樹委員を、副委員長に田村洋子委員をお願いする。
委員長	(2) 令和2年度 第1回財政健全化専門部会の会議結果について(報告) 資料1-1は10月23日に開催された財政健全化専門部会の資料である。これについては、財政調整基金の積立額が30億円に届くのかといった意見や、コロナ禍で財政出動が厳しいのではないかと、基金の取り崩しが必要ではないかといった意見などが出された。

	<p>もう1点、専門部会のテーマとして、資料1-1の3ページの新型コロナウイルス感染症の財政再建計画に及ぼす影響についての説明があったが、これは最終的な数値などは後日報告するとのことであった。</p> <p>また、新幹線開業の財政への影響についてなどの質問もあったが、10月の専門部会の時点では福井開業が遅れるという話は出ていなかったため、遅れによる財政への影響は新たな要因として、委員の方も質問したい点だと思う。</p> <p>専門部会でのまとめとしては、令和元年度の財政再建の取組については概ね着実に進んでいるとのことであった。しかし、10月は第3波の前であったため、コロナ禍の財政への最終的な影響については、早めに報告していただきたいとの意見があった。</p> <p>そこで、まず、その後のコロナ禍の影響や財政への影響について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	【資料1-3に基づき説明】
委員長	ただいまの報告について何かご質問があれば伺う。
委員	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の残額として3億4,000万円余りの金額があるが、これは3月31日までの財源ということでしょうか。
事務局	原則は年度内に執行ということだが、来年度への繰り越しも可能と国から聞いているので、年度内に執行できない事業については来年度に繰り越す。
委員長	88事業の中には、例えばIT関係などの投資的な経費と、経済的な支援などの継続的な支出があるが、大まかにいうとどのような感じか。
事務局	<p>投資的なものとして、例えば57番の「公立学校情報機器購入事業」は、新しい生活様式への対応として小中学校でオンライン授業を行うためのパソコン支給であり、備品購入費は令和2年度の執行となるが、維持補修費や通信回線費などは令和3年度以降も発生する。</p> <p>継続的なものとしては、企業の資金繰りに対して県と市で一体的に支援する事業もある。県の経営安定資金の融資に対し、市が3年間継続して利子を補給する。</p>
委員長	コロナ対策の中で継続的なものはどれくらいのウエイトを占めるのか。
事務局	感染症拡大防止やがんばれ福井応援券などの地域経済対策など、今年度で終わるものがほとんどである。
委員	放課後児童クラブなどの職員に一律5万円給付する事業があるが、これは資料の15番なのか20番なのか。
事務局	<p>15番は、感染予防のために消毒液等を購入する事業である。20番は、利用が減少している放課後児童クラブなどを安定的に運営するための支援である。</p> <p>5万円の給付については、県が9月補正予算で実施している事業なので、この資料には含まれていない。</p>
委員	資料1-3の対策事業一覧について、予備費を使うのか補正をするのかといった区分は、どのように割り振りをしているのか。

事務局	予備費については、補正予算では間に合わないような緊急的な執行が必要なもの、あるいは指定管理者の施設キャンセル料などについては予備費で対応している。
委員	専決はさらに緊急的なものか。
事務局	そのとおりである。
委員	43番の「文化芸術活動支援事業」について、詳細を教えてください。
事務局	文化会館ホールの利用料を一部支援するもの。使用料の2分の1、1イベントにつき上限20万円を支援する。また、文化芸術に携わる方の活動の場を広げるためのウェブ配信に関する研修会を開催する事業である。
委員	例えば市美展なども今年どうなるかわからないが、そういうものも含まれるのか。
事務局	要件を満たせば対象になる。
委員長	今回の大雪について、3年前のように、市民目線からは除雪費が多くかかっているように見える。財政的に3年前と同じような状態に陥るのではないかと、財政指数や基金などが振り出しに戻るのではないかとというような心配があるが、どうか。
事務局	今回の除排雪経費は、まだ事業者からの請求がないため精査中だが、財源として特別交付税が前倒しで約5億円支給されている。残りの経費は、現時点では基金の取り崩しではなく、昨年度の繰越金で対応したい。現時点では財政運営に支障はないと考えている。
委員長	基金には手を付けないということか。
事務局	そのとおりである。
委員	市の除雪計画では積雪10センチ以上で出動する予定であったが、実際は50センチでの出動であった。このために多額の費用がかかったのではないかと、どのような対応をするのか。
事務局	雪の降るタイミングについてだが、昼間では、車が往来して除雪が進まない。安全のためにも夜に出動するが、その時には50センチになっていた。物流の停滞や路線バスの運休を防ぐため、最重点路線及び緊急確保路線という大きな道路を優先して除雪している。雪が降るタイミングによって、結果として多額の費用がかかることとなったが、なるべく効率的に除雪を進めていきたい。
委員	判断する人のタイミングで市民負担が重くなったりするので、いろいろ意見がある。
委員長	除雪について意見があれば、またその他のところで意見をいただきたい。
	(3)「福井市行財政改革指針(平成29年度~令和3年度)」令和2年度取組結果(案)について
事務局	【資料2-1、2-2に基づき説明】

委員長	事務局の説明について、質問等があれば伺う。
委員	取組No.5の女性管理職比率について、1%はどれくらいの人数なのか。
事務局	管理職ポスト数が274、そのうち女性の管理職が50人なので、18.2%となっている。 1%足りないということは、3人ほど足りないということになる。
委員	来年度には達成するのか。
事務局	男女という面もあるが、いちばん大事なのは能力で判断することなので、男女参画の面も尊重はするものの、来年度に達成できるとは限らない。
委員	No.21の「不要となった財産の売却促進」について、ジュニアグラウンドを売却して収入があったということだが、木田地区では、学校の児童生徒数が増えることや、公園や道路環境をどうするのかといった別の面での市の負担が生じるのではないかと。
事務局	住宅メーカーが購入して、80戸くらいを整備予定と聞いている。木田小や明倫中に限らず、学校は老朽化しているので、計画的に改修していく必要がある。現在、学校の統廃合などの課題もあるので、それと併せて検討していくこととなる。
委員	No.21の「クラウドファンディング等を活用した事業の実施」について、令和2年度の2事業はどちらも足羽山に関するものだが、クラウドファンディングに有効なのは市民の関心のある事業だと思う。そういうことを把握するためにも、意見の場があると良い。全国的な取組であり、興味がある部分なので力を入れてほしい。 No.5の女性管理職比率について、男性職員の育児休業についても力を入れていくとのことなので、福井市も管理職がどれだけ理解しているかを若い男性の職員に周知できるかがポイント。職員が取得しやすい体制をとってほしい。
事務局	令和元年度までの男性職員の育児休業取得率の目標10%に対し、平成27年度は1.7%であったが、平成30年度6.3%、令和元年度10.6%と、上がってきている。取得できる環境整備をしっかりと進めていきたい。 若手職員には研修を通じて周知している。課題はキャリアロスのため、解消する制度を準備し、周知している。
委員	クラウドファンディングを活用して足羽山にあじさいの苗木を植栽しているが、足羽山に行くともまだ空いているところがある。どれくらいになれば埋まるのか。
事務局	平成29年度から1年に1,000株を目標として進めている。最初の年は100万円ほど集まったが、今年度は4年目で新鮮味が薄れてきているということもあり、なかなかというところになっている。クラウドファンディングは寄附する人の心が動くようなものでなければならず、企画力の勝負なので、そういったところが不足してきているのではないかと反省しているところである。
委員	最近、国の方でも様々な取組がスタートしていて、はんこレスなどもその一つである。この指針策定時にはそういったことは取り上げられていなかったが、そのあたりの取組はどうなっているのか。また、国でデジタル化を推進する中で、新しい組織を立ち上げて民間から人材を

事務局	<p>確保するようなことも言われているが、そのような新たな取組について、聞かせてほしい。</p> <p>また、No.23の「公共施設等の総合的な管理」について、施設の管理費の評価は雨、一方で、PPP/PFI導入の評価は晴れになっている。施設マネジメントアクションプランの取組は進んでいるが、経費の削減にはつながっていないということになるが、どちらが正しい評価なのかが分かりにくい。</p> <p>押印省略は、4月1日を目途として全庁的に作業を進めている。法で定められているもの以外は、原則、押印省略を行う予定である。デジタル化については、今後重要になるため、組織の強化を考えている。</p> <p>PPP/PFIについては、大型施設等への導入を全庁的に検討しているということで晴れにしている。</p> <p>マネジメントアクションプランはスタートしたばかりなので、施設の管理費にはまだ反映されていない。将来的には、施設の集約や廃止が進めば、管理費も削減されていくと考えている。</p>
委員	<p>施設マネジメントの目的は財政負担の軽減なので、どのようなプロセスで晴れに持っていくのかという考えを持っていければ良いが、今後の見通しなども盛り込んでいただくと良い。</p>
委員長	<p>施設マネジメントアクションプランは昨年度公表したところで、地元から様々な意見が出ているが、現時点の状況としては、見通しはどのようなものか。</p>
事務局	<p>アクションプランは、5年間の施設面積の削減を指標として進めており、面積の削減と同時に施設の有効活用に取り組んでいる。第1期で掲げた取組については順調に進めているところであるが、財政再建計画に基づいて進めている中で、再建計画は収支均衡と財政調整基金の積み立てが目的なので必ずしもリンクしない。長期的には財政負担の軽減につながる。</p>
委員長	<p>地元の理解が得られず、方針が定まっていない施設の状況は、</p>
事務局	<p>12月議会などでもいくつかの施設の廃止条例を提案させていただいた。利用者や地元への説明を行い、理解を得た上で、廃止などを進めており、今後も、その都度利用者や地元へ説明を行って進めていきたい。</p> <p>アクションプランで廃止とした施設でも、地域に貢献すると認められるものについては、普通財産として貸付できる制度も作った。このような投げかけもしながら、地域と協議していきたい。</p>
委員長	<p>計画期間があるからといって進めるのではなく、お互いがよりよくなるように、協議しながら進めてほしい。</p>
委員	<p>No.12の「外部点検の実施」について、評価を入れないといけないのか。</p>
事務局	<p>コロナ禍で実施していないため、厳しいかもしれないが雨にしている。</p>
委員長	<p>この委員会で実施するものであり、令和3年度は実施するのでよろしくお願ひしたい。</p>
委員長	<p>(4)その他 その他として、コロナや大雪などの課題について何か意見はないか。</p>

委員	少年自然の家とフェニックスホテルを一時コロナ感染者の宿泊療養施設として利用していたが、今後もそのように使用するのか。
事務局	少年自然の家は、消毒もきちんとい、現在は一般利用ができるようにしてある。利用者が共同で使用する場所もあり、今後もコロナ感染者の宿泊施設として使用するのかという点と厳しい。 軽症者の受入施設として、県から依頼があって提供した。
委員	フェニックスホテルのほうは現在どうなっているのか。
事務局	フェニックスホテルについては、7月末で県との契約が終了しており、その後は休業しているとのことである。
委員	コロナワクチンの市民への接種について、福井市はいつ頃になりそうなのか。
事務局	1月にチームを立ち上げて検討しているところで、現時点では、詳しいことをお伝え出来ない。
委員	県では、指定医療機関で3月から医療従事者を先行して行う予定と聞いている。一般の市民については、早くても6～8月ごろになるのではないか。
委員	周知等も迅速にしていけないといけないし、それをどういうふうにしていくのか、日程の調整の仕方など、考えることはたくさんあると思う。
事務局	現在、検討しているところである。
委員	自己判断で接種しないと考える人も一定程度いると思われる。どのくらいの方が実際に接種をするのか、ふたを開けてみないとわからない。
委員	広報の仕方によると思う。ワクチンの接種率を上げていかないと、いつまでたっても感染者が減らないということにもなりかねない。接種率を上げるために、安全性などをしっかりと広報する必要があると思う。
委員	行革指針のNo.12の外部点検について、施設に関するものについては、資料だけで評価するのは正確ではないため、現場を見てから点検するやり方を考えてもらったほうがいいのではないか。 美山などの施設でも、廃止するとされていたが、地元からの意見があって、いろいろな形で残そうという動きも出てきている。場合によっては現場を見せてもらってから判断するのも良い。最初の頃はそうに行っていた。
事務局	点検の方法はまた考えさせていただく。
委員	生活困窮者について、コロナ禍で増えていると思う。相談だけでは間に合わない人もいるので、調査も必要だと思う。自分から申し出ない人も多いと聞いている。男性でも一戸建てを買ってローンが払えず自殺する人もいる。そのようなことをどのように把握するのか、お聞きしたい。また、誰がそういった方を見つけるのが大切なので、対応を検討してほしい。

事務局	<p>生活困窮者支援総合窓口よりそいでの相談件数については、今年の4月から12月までの相談件数は昨年の同時期と比較すると500件くらい増えている。今年度は、補正予算で相談員を一人増員して対応している。社会福祉協議会での一時金の貸付なども増えていると聞いている。市の方から出て行ってそのような方に対応できないのかということだが、現行の仕組から漏れた人は支援の対象とならない、ということの無いよう、対応を検討していく。</p>
委員	<p>社協の貸付について、10月時点で1,500人に1億5千万円貸している状況だった。12月の中頃に聞いたところ、1回借りた方が再度借りに来ているということだった。現在は3億円を超えている。だんだん状況が悪くなっているの、貸したお金も返ってこない。市役所は敷居が高く、市社協の方が利用しやすいのかもしれない。</p>
委員	<p>返済は免除されるのか。</p>
事務局	<p>貸付なので返済が必要だが、無利子となっている。</p>
委員	<p>生活保護を受けたいという相談についてはどうか。</p>
事務局	<p>行革では、自立支援の窓口での相談が対象になっている。 新聞では、コロナの初期の頃は生活保護者が増えたが、それ以降はあまり変動がない。生活保護を受給する上での調査方法が障害になっている部分があって、ためらうという記事もあった。</p>
委員長	<p>支援に漏れがないように進めていただきたい。 ひとつ聞きたいが、大雪について、この3年間で市民の苦情に変化はあるのか。災害時は市民もできることはする責務があるはずだが、一方で、除雪を徹底すればするほど要望が強くなるのではないのかということも危惧している。苦情について市のほうで総括し、変化をとらえているのか。総括していないのなら、しっかりとそれを踏まえて、市民への呼びかけや投げかけをしていただきたい。</p>
事務局	<p>直近2年間はほぼ降雪がなかった。平成29年度の大雪は今回に比べて期間も長く、今回の大雪とは条件が違う部分もあった。県も市も対策を講じているが、なかなか100%ではないということで、課題が出てきている。ここでのご意見については建設部等にも伝え、今回の反省点について、しっかり対応していく。</p>
事務局	<p>来年度の取組として、令和4年度からの新たな指針を策定する必要があるため、各委員から意見をいただきたい。また外部点検については、今年度実施する予定だった「学び成長するまち」の分野の点検と4年間の総括をお願いしたい。 忙しいと思うが、お力添えをお願いしたい。</p>